

2019年度 北信越クラブユースサッカー連盟

荒天・雷・自然災害などの影響で競技の実施・継続・完了が出来ない場合の対応について

1. 最優先事項

- ①選手・審判員・役員・観客等の安全を最優先に考え、無理に競技を続行しない。JFA の判断指針に従って競技の中断・再開試合（残り時間の消化）・再試合（90分の再試合）の決定を以下事項の通り行う。

2. 再開試合（残り時間の消化）の場合

- ①中断時間（時間の長短を問わず）を置いて実施が可能であれば、極力その当日に実施・完了することが原則である。この場合、中断した時点から競技を再開試合するが、会場の状況と安全を確保することを考慮する。
- ②再開試合の試合記録（試合状況）は全て中断時のものを引き継ぐこととする。また、メンバーは原則として試合中断時点と同じメンバーとし新たに補充できない。ただし、試合会場、審判団についてはその限りではない。

3. 再開試合（残り時間の消化）可否の決定について

- ①当日中に再開試合するか、あるいは「4」以降の内容で当日の再開試合が不可とするかの判断は、競技中断から最大で1時間後までに決定する。
- ②1時間後に決定する際、後30～60分待てば（当該地域気象台などの情報による）再開できる目途が立つのであればこの限りではない。
- ③当日の次の試合開始時間が近づいている場合は、次の試合を優先する。

4. 再開不可の場合の対応

- ①kickoffから前半終了時の場合 再開試合を検討する。得点状況・警告・退場は再試合へ持ち越す。
- ②ハーフタイムから後半終了の場合 試合終了とし、その時点での結果（試合記録）で試合を成立させる。

5. 再試合（90分の再試合）の場合の対応について

- ①再試合の期日は、中断・中止した試合日の翌日以降に実施する。
- ②再試合の試合記録（試合状況）は全て取り消されるものとする（警告・退場及び出場停止処分の対象試合となっていた場合の処分消化）。ただし、試合会場、審判団についてはその限りではない。

6. トーナメント戦において4. ②で同点の場合について

- ①抽選とする。

7. 上記に当てはまらない事象等は大会実施委員会で審議・決定する。